

阿波

鳴門の
風波

上り余り冬可図を

16th JSMD プログラム

ランチョンセミナー1～9

共催シンポジウム

共催市民公開講座

阿波
鳴門
風波

ランチョンセミナー 1

7月5日(金) 11:40～12:40

あわぎんホール 第1会場(1F ホール)

LS1 うつ病と発達障害

座 長	樋口 輝彦	一般社団法人日本うつ病センター / 国立精神・神経医療研究センター
演 者	岩波 明	昭和大学医学部精神医学講座
共 催	武田薬品工業株式会社 / ルンドベック・ジャパン株式会社	

ランチョンセミナー 2

7月5日(金) 11:40～12:40

あわぎんホール 第2会場(4F 大会議室)

LS2 悲哀、うつ、うつ病：進化心理学の視点

座 長	渡邊 衡一郎	杏林大学医学部精神神経科学教室
演 者	神庭 重信	九州大学 名誉教授 / 一般社団法人日本うつ病センター(JDC) / 栗山会飯田病院
共 催	日本イーライリリー株式会社 / 塩野義製薬株式会社	

ランチョンセミナー 3

7月5日(金) 11:40～12:40

あわぎんホール 第3会場(4F 会議室2～4)

LS3 うつ病症状の世代間格差と時代的变化

座 長	五十嵐 良雄	医療法人社団雄仁会
演 者	徳永 雄一郎	不知火病院
共 催	持田製薬株式会社 / 田辺三菱製薬株式会社 / 吉富薬品株式会社	

ランチョンセミナー 4

7月5日(金) 11:40～12:40

あわぎんホール 第4会場(5F 小ホール)

LS4 うつ病の不眠を考える

座 長	石郷岡 純	CNS 薬理研究所
演 者	井上 雄一	東京医科大学睡眠学講座 / 睡眠総合ケアクリニック代々木
共 催	アステラス製薬株式会社	

ランチョンセミナー 5

7月5日(金) 11:40～12:40 あわぎんホール 第5会場(5F 会議室6)

LS5 【第一部】日本発のうつ病研究データを眺めてみる 【第二部】うつ病研究の新しいアプローチ

座 長	白川 治	近畿大学医学部精神神経科学教室
演 者	内田 裕之	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
共 催	Meiji Seika ファルマ株式会社	

ランチョンセミナー 6

7月6日(土) 12:00～13:00 あわぎんホール 第1会場(1F ホール)

LS6 治療抵抗性抑うつに外来診療でできること。社会復帰を目指した診断と治療

座 長	上野 修一	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学
演 者	加藤 正樹	関西医科大学精神神経科学講座
共 催	大塚製薬株式会社	

ランチョンセミナー 7

7月6日(土) 12:00～13:00 あわぎんホール 第2会場(4F 大会議室)

LS7 双極性障害の適切な診断と治療戦略

座 長	中川 伸	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座
演 者	田中 輝明	KKR札幌医療センター精神科
共 催	大日本住友製薬株式会社 メディカルアフェアーズ部	

ランチョンセミナー 8

7月6日(土) 12:00～13:00 あわぎんホール 第3会場(4F 会議室2～4)

LS8 注意欠如・多動症(ADHD)の診断が意味するものを考える

座 長	樋口 輝彦	一般社団法人日本うつ病センター / 国立精神・神経医療研究センター
演 者	尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野
共 催	ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部	

ランチョンセミナー 9

7月6日(土) 12:00～13:00

あわぎんホール 第4会場(5F 小ホール)

LS9 双極性障害に対するエビデンスに基づいた薬物治療

座 長 井上 猛 東京医科大学精神医学分野

演 者 岸 太郎 藤田医科大学医学部精神神経科学講座

共 催 共和薬品工業株式会社 / 吉富薬品株式会社

共催シンポジウム

7月6日(土) 9:15 ~ 11:15

あわぎんホール 第1会場(1F ホール)

COS うつ病における脳画像の現状と展望

座 長

尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

井上 猛

東京医科大学精神医学分野

COS-1 うつ病に対する認知行動療法の治療機序の解明へ： 脳機能画像アプローチによる取り組み

中川 敦夫

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター / 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

COS-2 PET 研究から見たうつ病の治療標的としてのセロトニン・ノルアドレナリン トランスポーター

須原 哲也

量子科学技術研究開発機構量子生命科学領域

COS-3 脳画像データベースとニューロフィードバックの現状と展望

川人 光男

ATR 脳情報通信総合研究所

共 催

ファイザー株式会社 / 大日本住友製薬株式会社

共催市民公開講座

7月6日(土) 14:40～16:40

あわぎんホール 第1会場(1F ホール)

COL 第16回日本うつ病学会総会 / 第21回JDC市民公開講座 うつ病の理解と対応

共 催

日本うつ病学会／一般社団法人日本うつ病センター（JDC）／
塩野義製薬株式会社／日本イーライリリー株式会社

後 援

徳島県医師会、徳島県精神神経科診療所協会、徳島県精神保健福祉協会、
徳島県臨床心理士会、一般社団法人 徳島県精神科病院協会、
一般社団法人 徳島県薬剤師会、公益社団法人 徳島県看護協会

【趣旨・狙い】

うつ病を含む気分障害と診断された人は、約20年前に比べると約2.5倍に増加し、100万人程度と報告されています。また、WHOの報告でも、2030年にはうつ病が、DALYsの健康な生活を障害する疾患・外傷の第1位になると予測されているなど、うつ病に関する関心は年々高まっています。しかしながら、早期にうつ病に気付く事は難しく、精神科や心療内科などを適切なタイミングで受診できないまま過ごされている人もまだまだ多いことが推察されます。本講座では、うつ病に関する理解を深めるとともに、周囲の方々が当事者の皆様に対してどのようなサポートができるのかをご一緒に考える機会にしたいと思います。

司 会

【講演1】樋口 輝彦

一般社団法人日本うつ病センター（JDC）名誉理事長／
国立精神・神経医療研究センター 名誉理事長

【講演2】大森 哲郎

徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

<プログラム>

開会挨拶・総司会 大森 哲郎 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

【講演1】

COL-1 うつ病で気をつけたいこと

三村 将 日本うつ病学会 理事長 / 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

【講演2】

COL-2 うつ受診率が高い町の特徴とは

岡 檀 情報・システム研究機構統計数理研究所医療健康データ科学研究センター

COL-3 うつ病が教えてくれたこと

音無 美紀子 女優

閉会挨拶 樋口 輝彦

一般社団法人日本うつ病センター（JDC）名誉理事長／
国立精神・神経医療研究センター 名誉理事長

入 場 料

無料

定 員

800名

参加希望の方へのご案内

この市民公開講座は一般市民の方を対象にしております。

第16回日本うつ病学会総会のプログラムの一つでもあります。一般市民の方の参加を優先いたします。

第16回日本うつ病学会総会参加者の方には恐縮ですが、入場を制限させていただきます。

7月5日(金) 8:15～総合受付にて市民公開講座参加を希望する方、先着30名様に市民公開講座入場券をお配りいたします。ご希望の方は総合受付にてお受取りください。

30名に達した時点で締切らせていただきますのであらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。